

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名	令和7年度 第3回権利擁護部会	開催日時	令和7年8月6日（水）10:00~11:30
-----	-----------------	------	------------------------

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課、中野市福祉課障がい福祉係、中野市高齢者支援課、中野市社会福祉協議会、飯山市保健福祉課障がい福祉係、飯山市地域包括支援センター、飯山市社会福祉協議会、山ノ内町健康福祉課福祉係、山ノ内町健康福祉課介護支援係、山ノ内町社会福祉協議会、木島平村民生課健康福祉係、木島平村地域包括支援センター、木島平村社会福祉協議会、野沢温泉村民生課福祉係、野沢温泉村社会福祉協議会、栄村民生課健康支援係、栄村社会福祉協議会、ひまわり長野、リーガルサポートながの、ぽあとなあながの、北信圏域権利擁護センター、のぞみの郷高社、常岩の里ながみね、未来工房つむぎ、クローバー、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

- ①開会 ②他部会の活動状況の共有 ③長野県自立支援協議会権利擁護部会の報告
④権利擁護センター運営会議の報告 ⑤各PJによる協議 ⑥その他 ⑦閉会

会議で話し合われた事

①開会

②他部会の活動状況の共有

サービス向上部会…今年度も現場支援者向けの研修会を実施予定。今回は、福祉職に就いて1~3年目程度の若手職員を対象とし、現場での戸惑いや悩みを共有できる場とすることを目的としている。当日は、先輩職員からの体験談（入職のきっかけ、失敗談、やりがいなど）を聞いたうえで、参加者同士でグループワークを行う構成を予定している。

③長野県自立支援協議会権利擁護部会の報告

○各圏域の部会計画・活動報告

各圏域から以下のような取組が報告された。上小圏域では、年間4回の委員会開催に加え、虐待防止・権利擁護に関する合同研修の実施（市町村、保健福祉事務所、後見センター等が参加）や、虐待事例の検証・振り返りを進めている。

また今年度は、「地域移行等意向確認者ネットワークの構築」もテーマとして掲げられており、MOSH！（本人中心の支援を考えるネットワーク）活動など、地域横断的な連携の場づくりにも力を入れている。

○意思決定支援に関するアンケート結果の共有

各圏域で事業所を対象に意思決定支援の実態調査が行われ、好事例の共有がされた。各圏域の取り組みについては後日メールにて事務局より共有の予定。

④権利擁護センター運営会議の報告

○令和7年7月に開催された権利擁護センター運営会議の内容について報告があった。

○現在の相談傾向として、以下のような深刻なケースが増加しているとの報告がなされた。

- ・多額の負債や税金滞納を抱えたまま、認知症状が進行し、経済的に困窮しているケース
- ・頼れる親族がいない、あるいはいても関係性が悪いケース
- ・同居している子どもから年金を搾取されるなど家庭内での経済的搾取が見られるケース

これらの事例の多くは、日常生活自立支援事業や成年後見制度に繋がった時点では、すでに問題が深刻化しており、早期介入の必要性が指摘された。今後の対応として、以下の検討が行われている。

- ・日常生活自立支援事業や成年後見制度に代わる、簡易な金銭管理支援の仕組みの構築
- ・身寄りのない方が安心して生活できるようなガイドラインの整備に向けた勉強会の開催

⑤各PJによる協議

○啓発・研修PJ

- ・第3回部会にて、竹内司法書士および権利擁護センターによる「成年後見制度に関する学習会」を実施。
- ・第5回部会の研修会は、北信総合病院 花岡看護師に講師依頼する方向で確認。
- ・10月16日 権利擁護センター主催研修会にて、「身寄り」をテーマとした寸劇を実施することとし、次回部会にてシナリオを確定する。

○虐待予防PJ

- ・飯山市より、認定判断に迷った事例の共有があり、委託業者に対する支援理解・指導体制の必要性が確認された。
- ・研修会に向けたアンケートは、協議会および保健福祉事務所の連名で、虐待防止マネージャー宛に送付し、次回部会までに集計する。
- ・研修会は前倒しで**令和7年度内に開催（1/13・14・16 候補）し、講師は昨年度に引き続き長野県社会福祉士会へ依頼する方向で調整する。

○差別解消運営PJ

- ・バス会社への啓発チラシの効果検証として、無記名・郵送でアンケートを実施（発送：8/20、回収：9/19）。
- ・中野市内での入居拒否事例にふまえ、不動産会社へのアンケートを作成し、次回部会で素案を確認する。

⑥その他

⑦閉会